

第 141 号 令和 5 年 10 月 15 日発行

あまうが通信

あまうが(アモーガ)とは真実

発行所 ひょうたんでら融通尊寺 〒 651-0093 神戸市中央区二宮町 4-8-14

電話078-221-5136

発行人 住職 宇喜多 智弘(うきた ちこう) メール yuzusonj@gmail.com

FAX 078-221-9256

HP <https://www.yuzusonji.or.jp>

携帯 090-1480-4400

お十夜法会のご案内

日時 11月15日(水曜)午後2時より 場所 融通尊寺本堂

お十夜精霊回向料

1霊につき3,000円

申込〆切 11月10日まで

申込み方法

同封致しました緑色の精霊回向申込書に必要な事を記入して、回向(えこう)料を添えてお申込み下さい。先祖代々の申込みは、その家の総ての御先祖に広く供養したい場合で、先祖代々で1霊と数えます。

1霊ずつ戒名を書いて申込むと、その戒名の御霊に特に供養することに成り、回向の証文には戒名が書き記されます。戒名は解からないが特にご恩になった方・お世話になった方に供養したい場合は、そのかたの名前を書いて申込んで下さい。水子供養の場合は、〇〇家水子と書いて申込んで下さい。

申込は、①お寺に持参 ②住職に手渡し ③郵送 の三つがあります。

回向料の納め方は、①申込時に手渡し ②郵便振替(口座番号 01110-3-84884)

③現金書留 ④法会の当日に持参(その場合、必ず事前に精霊回向申込書を郵送するか FAX 078-221-9256 してください) の四つがあります。

お十夜(じゅうや)と言うのは亡き人や御先祖さまへの感謝の法会(ほうえ)です。

精霊回向申込みはする、しないは自由です。申込まれた方はなるべくお参りされた方が良いでしょう。申込まれて出席の方には当日回向の後、証文をお渡しします。申込まれて欠席でもお寺の方で回向(えこう)して後程、証文をお送りします。回向の証文は、1年間お仏壇などにおまつりしてください。古い証文はお寺に納めて下さい。

この日は皆さまの御先祖さまや亡き方々が、お寺にいられて皆さまとお会いするのを楽しみにしておられます。そういったお御霊さまに感謝の心で手を合わせ、おひかりとお香を手向けると、不思議なことに本当に気分がスーッとしますよ。

どうか御家族お揃いでのお参りを、お待ち申し上げております。

【信号機さん有り難う御座います！】



今回はボク(住職)の懺悔話にお付き合いください。

ボクは現在65歳になりますが、小学校入学の時に信号機の渡り方を教わりました。以来約58年間、数知れず信号を渡り続けいろんな道を利用して参りました。

ところがつい先日までボクの信号の渡り方は、「青は進め。青の点滅と黄色は急いで渡れ。赤は注意して進め」でした。これは悪質な法律違反です。**正しくは「青は安全を確認してから進む事ができる。青の点滅と黄色は止まれ、横断を始めてはいけない、ただし横断中の場合は速やかに渡るか引き返せ。赤は止まれ」**です。つまり法律を守っている限り赤信号で車道の上に居る事はあり得ないのです。

なのにボクはずっと様々な交通違反の常習者でした。当然の報いとして、25歳で免許を取得してから、60歳で免許取消処分(度かさなる交通違反で)になるまでは、事故と違反処分の繰り返しでした。しかも恐ろしいことに「事故や違反は、運が悪かった。とか、今回は残念だった、今度からは見つからないようにしよう」と思ってさえいたのです。

思えば、神様や仏様、御先祖さまは本当にヒヤヒヤして「これはいつかは、命取り(自分か他人の)になるぞ!」と見守っておられ、とうとう5年前には運転免許をお召し上げになりました。

車やバイクを運転できなくなったボクは自転車でお参りをするようになりました。おかげで身体は楽になり健康状態も改善しました。**ところが!**やはり交通違反は改まりませんでした。それでつい先日9月19日も、ある大きな交差点を黄色から替わった赤信号で、自転車で走り抜けようとして横から来た自転車とぶつかりそうになりました。急に止まって道路に転倒しました。幸い殆ど怪我はありませんでしたが、もしも相手が自動車かバイクだったら即死していたかもしれません。この時はっきりとわかりました「オマエ、まだわからんのか!ほんまに命取りになるぞ!類は類をもって集まるのだぞ!」と上から警告されているのが。

それで翌日からは、今度こそは交通法規を遵守するように改めました。ところが長年の癖とはおそろしいもので、気がついたら無意識に赤信号で渡ってしまっていることがあったのです。特に急いでいる時は、頭で判断するより体が動いてしまうのです。ですから、たとえどんな場所でも車や人が居ても居なくても、黄色と青の点滅、赤は必ず止まる事を身体に覚え込ませている最中です。

すると、不思議なことに今までイライラしていた信号待ちが、安心してホッとできる時間になりました。こんな詩も浮かびました。

「赤い光りの信号機さん、緑や青に光る青信号さん、黄金色の黄色信号さん、日本全国、世界中にもある無数の信号機さん。1年365日24時間、1秒も休まず見事な連携プレーで人々の交通を安全に守ってくださっている。本当に、ありがとうございます!あなたの前に立ち止まると元気がいただけます。あなたの下を通らしてもらう時は浄めていただいています。有り難う御座います!」

(信号機の写真を2枚載せましたが実際の道路ではすべての色が点灯していることはありません)

小学校一年生からやり直しの、懺悔話でした。お付き合い有り難う御座います!

合掌九拝 智弘

